

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公開番号】特開2009-31870(P2009-31870A)

【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2007-192459(P2007-192459)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/387 (2006.01)

G 06 T 11/80 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/00 3 4 0 A

H 04 N 1/387

G 06 T 11/80 A

H 04 N 5/232 H

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月5日(2010.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像処理装置であって、

撮像によって生成された対象画像の大きさに対する前記対象画像中の特定種類の被写体の画像の大きさを示す第1の情報を取得する第1の情報取得部と、

前記特定種類の被写体の大きさを示す第2の情報を取得する第2の情報取得部と、

前記対象画像の画角を特定可能な第3の情報を取得する第3の情報取得部と、

前記第1の情報と前記第2の情報と前記第3の情報とに基づき、前記対象画像生成時の撮像装置から前記特定種類の被写体までの距離である被写体距離を推定する被写体距離推定部と、を備える、画像処理装置。

【請求項2】

請求項1記載の画像処理装置であって、さらに、

前記推定された被写体距離を用いて特定の処理を実行する特定処理実行部を備える、画像処理装置。

【請求項3】

請求項2記載の画像処理装置であって、

前記特定処理実行部は、

前記特定の処理として、前記対象画像における前記特定種類の被写体の画像を含む領域内の画像変形を行う変形処理部と、

前記推定された被写体距離に基づき、前記画像変形における変形の度合いを、前記被写体距離が小さいほど変形の度合いが大きくなるように設定する変形量設定部と、を含む、画像処理装置。

**【請求項 4】**

請求項 2 記載の画像処理装置であって、  
前記特定処理実行部は、

前記特定の処理として、前記対象画像における所定の背景領域内の画像のぼかし処理を行なうぼかし処理部と、

前記推定された被写体距離に基づき、前記ぼかし処理におけるぼかしの度合いを、前記被写体距離が小さいほどぼかしの度合いが大きくなるように設定するぼかし度合い設定部と、を含む、画像処理装置。

**【請求項 5】**

請求項 2 記載の画像処理装置であって、  
前記特定処理実行部は、

前記特定の処理として、前記特定種類の被写体を含む画像を表すデータと前記推定された被写体距離を示すデータとを含む画像ファイルの生成を行う画像ファイル生成部を含む、画像処理装置。

**【請求項 6】**

請求項 2 記載の画像処理装置であって、さらに、  
撮像により画像を生成する画像生成部を備え、  
前記特定処理実行部は、

前記推定された被写体距離に基づき、前記特定の処理として、前記画像生成部による前記特定種類の被写体の撮像時に焦点の位置すべき範囲を、焦点が位置することが可能な最大の範囲よりも狭い範囲として設定する焦点範囲設定部を含む、画像処理装置。